

中小企業の発展に関わる社会システムに関する国際比較研究

陳 立 行

この特集の論文は2000年度日本福祉大学課題研究費、2001 - 2002年度文部科学省科学研究費によって実施した調査研究の結果に基づいて作成されたものである。

この研究は中国、マレーシア、日本の起業家を対象にして、それぞれの対象国における主たる民族と少数民族としての中国系、インド系、ムスリム系、コリアン系の起業活動、経営方式、技術力、経営エートス、企業の成長過程などに対してアンケート調査と聞き取り調査を実施した。

この研究は中小企業発展の担い手としての経営者を育成する社会的、文化的環境の様相を明らかにし、同一民族の起業家の異なる国における企業の創立と発展の相違を、社会システムとそのメカニズムの分析によって解明することを目的にした。

この調査は中小企業の経営者を対象とし、中国の場合、私有企業に限った。調査対象の抽出は可能な限りランダム様式で行うことに努力したが、外国の特別の事情により、中小企業の統括機関に抽出していただき、調査票を配布と回収をしたケースもある。それぞれの国の調査地域については、マレーシアからマレー系、中国系、インド系が混在しているペナンを、日本から中小企業が多い愛知県を、中国からムスリムが多い回族自治区の寧夏とコリアンが多い朝鮮族自治州の延辺を選出した。三つの国から合計1,600人の経営者に対してアンケート調査を行ったが、470票を回収した。回収率は29.4となっている。

この研究はマレーシア科学技術大学と中国首都経済貿易大学から積極的な協力を得て、海外共

アンケート調査の対象地域、調査方法と回収率

対 象 国	対象地域 / 調査方法	回収部数 / 配布部数	回収率
マレーシア	ペナン / 置留法	151 / 200	75.0%
中 国	寧夏回族自治区 / 置留法	101 / 150	67.8%
	延辺朝鮮族自治州 / 置留法	26 / 50	52.0%
	北京・天津 / 置留法	50 / 150	33.3%
日 本	愛知県 (中小企業) ランダム, 郵送	116 / 500	23.2%
	全国 (コリアン系企業) ランダム, 郵送	26 / 500	5.2%
合 計		470 / 1,550	30.32%

同研究者と一緒に中国の安徽省，北京，延辺で，マレーシアのペナンで合計4つのインキュベーターと約40社の中小企業に企業見学を行いながら，企業家に対して聞き取り調査を行った．